

事業計画書
収支予算書

第 16 期

自 2025年4月 1日
至 2026年3月31日

公益財団法人 堀科学芸術振興財団

事業計画書

第 16 期

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

当財団は、愛知県内の自然科学分野の研究開発に対する研究費の助成及び文化・芸術活動に対する支援、美術館の運営等を行うことによってその振興を図り、地域社会の活力ある発展に貢献することを目的としています。

2025年度は、理事会の承認のもと、研究助成を中心として、以下の4事業を実施いたします。

第1部 第34回研究助成事業（予算105,010千円）

愛知県内の大学、研究機関において、将来性のある若手研究者に対し研究助成を行います。
また独創的で先駆的な研究プロジェクトを行う研究者・グループに研究助成を行います。
助成額は総額1億円を交付します。
なお、研究助成事業に関する運用費用として5,010千円の予算を計上します。

第2部 現代美術の支援に関する事業

第16期は企画しておりません。

第3部 堀美術館事業（予算20,832千円）

「文化のみち：堀美術館」を運営し、地域社会の文化振興に努めます。藤田嗣治・梅原龍三郎など、「エコール・ド・パリ（パリ派）」に属する芸術家の作品並びに棟方志功・加山又造・横山大観などの近代日本画を代表する芸術家の作品を展示します。
美術品の保存・展示のため、2025年度は20,832千円の予算を計上します。
又、本年度は美術品・絵画収集に100,000千円を、美術品取得資金に100,000千円の積み立てを予定しています。

第4部 講演会事業（予算500千円）

第16期は講演会は企画しておりません。ただし、11月3日の文化の日に名古屋の近代化の歩みを伝える歴史的な遺産の宝庫ともいえる名古屋市東区において開催されるイベント「歩こう文化のみち」に参加し、運営の費用として500千円の予算を計上します。

以上